

様式（第9条関係）

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	令和5年度第3回益田市介護保険推進協議会
開催日時	令和5年11月8日（水） 14：00 から 16：00
開催場所	市民学習センター203
出席者	<p>【出席者】 田中委員、山鳥委員、土佐委員、野村委員、棕木委員、松本委員、小原委員、島田委員、栗原委員、堀部委員、渡辺委員</p> <p>【事務局】 波田福祉環境部長、和崎高齢者福祉課長、大崎高齢者福祉課長補佐、高森高齢者福祉課長補佐、堀江事業者指導係長、鎌谷地域包括推進係長、渡辺地域生活支援係長、琴野副主任主事、工藤主任社会福祉士、藤原副主任主事、和田美都地域総務課長補佐、大谷匹見地域総務課主任、平原保険課保健・年金係主任</p>
議題	<p>令和5年度第3回益田市介護保険推進協議会</p> <p>【議事】 公開</p> <p>（1） 第9期老人福祉計画・介護保険事業計画素案について その他</p>
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	0人
1 あいさつ	<p>田中会長あいさつ</p> <p>第9期えっとまめなプランの素案を確認し、内容について意見交換、協議をする最後の機会なので、忌憚のない意見をもらいたい。</p>
審議経過 2 議事 【事務局】	<p>（1） 第9期老人福祉計画・介護保険事業計画素案</p> <p>章ごとに説明していくので、議論、意見をもらいたい。</p> <p>第1章から第3章（P.10～P.50） 説明</p>
【議長】	<p>高齢者人口の推計について、表では第11期まで増加しているので、現在の表現では合わないのではないか。（P13②2行目）</p> <p>認定率の比較について、このグラフの調整済み認定率はP14の認定率と違うことを説明に加えてはどうか。（P16※）</p> <p>「生きがい」だけではなく「生きがいと役割」としてはどうか。（P45基本目標）</p> <p>身体的な自立支援に加えて、自己決定を支援する自律支援を追加してはどうか。（例：（自立（自律）支援）、（自立支援・自律支援）（P45基本理念）</p>

【委員】	「高齢者」の定義を65歳から60歳くらいまで年齢層を下げたものにしてはどうか。(P45 基本理念、基本目標)
【事務局】	(1) 第9期老人福祉計画・介護保険事業計画素案 第4章 基本施策1 (P.52~P.56) 説明
【委員】	国民健康保険事業と後期高齢者医療保険事業が「適切に接続されていない」とはどういうことか。(P56 (3) 3行目)
【事務局】	実施主体が違うので、保健事業の連携を強化していきたい。
【委員】	介護予防生活支援サービス事業の対象者の約9割が、要介護認定申請で終結していると記載があるが、認定を申請しているのに介護サービスに繋がっていないのか。今後の対策として、周知不足か、家族の介護か、経済的な理由があるかもしれない。
【事務局】	介護予防生活支援サービス事業は、要支援や事業対象者の方がサービスを利用することで、自立し、地域の場に出かけることを目的にしているが、実際は介護保険のサービスを利用しているという現状を記載している。
【委員】	必要な方にサービスが繋がっていないというのは、目的とずれた利用の仕方になっている表現なので、説明がわかりにくい。
【事務局】	(1) 第9期老人福祉計画・介護保険事業計画素案 第4章 基本施策2 (P.57~P.61) 説明
【委員】	取組事業の今後の方向性に継続とあるが、見直しや改善は行わないのか。現状の維持ということか。
【事務局】	事業の見直しについては継続して関係部署で協議していきたい。
【議長】	今後の方向性について、新規、継続、拡充の定義を説明として追加してはどうか。拡充の内容についても、対応窓口がこの計画で分かるようにしてはどうか。(P57No1)
【委員】	ふれあい収集の周知と対象者の抽出について教えてほしい。(P57No5)
【事務局】	ふれあい収集の担当課に相談があると、審査会で対象者を決める。周知については担当課とも検討していきたい。
【委員】	安心見守りネットワークについて「拡充」とあるが具体的には、サスケの協力員の負担が大きい。
【事務局】	現状を改善するため、見守り事業について多様なサービスから選択できるように検討している。
【委員】	サービス利用するために誰からの申請が必要かを記載してほしい。
【議長】	事業計画には、利用方法までのすべての内容の記載は難しいので、施策にちえぶくろの作成を追加してはどうか (P58)

【委員】	民生委員が関わっている事業について、各地区の民生委員は地区の高齢者の状況を把握し、周知を行っている。(P57No1、3、5)
【議長】	福祉教育の推進の項目について、地域福祉計画を参考に組み立ててはどうか (P61)
【事務局】	(1) 第9期老人福祉計画・介護保険事業計画素案 第4章 基本施策3 (P.62~P.70) 説明
【議長】	内容に再入院を防ぐための支援体制を追加してはどうか。(P65 No3) 認知症施策のところで、本人発信支援の説明を追加してはどうか。 (P68※)。チームオレンジの記載はどうするのか。(P68)
【議長】	チームオレンジの記載について、言葉として記載はないが、政策的に目指しているものを機能として盛り込んでいる。
【委員】	認知症サポーターの養成・活動支援の拡充の内容は？ オレンジリングが廃止となっているが、復活をお願いしたい。(P68 No6)
【事務局】	サポーター養成講座を行い、幅広い企業、市民向けに活動を行っていききたい。
【委員】	成年後見制度と日常生活自立支援との連携は？説明を加えてはどうか？ (P69 No4)
【事務局】	日常生活自立支援事業については今後も社協と連携して行っていききたい。
【議長】	連携が読み手の側にわかるように説明を加えてはどうか。または地域福祉計画に盛り込むという整理の方法もあるかもしれない。
【事務局】	(1) 第9期老人福祉計画・介護保険事業計画素案 第4章 基本施策4 (P.71~P.75) 説明
【議長】	今日は予定の時間を超過しているので、ご意見等は直接事務局へお願いします。 今日の議論から計画の修正をした内容 (パブリックコメント案) については、事務局へ一任するという事によろしいか。
【委員】	了承